

# 居住地校交流の様子

「居住地校交流」は、特別支援学校に在籍する児童生徒が、自身の住んでいる地域の小中学校で、その学校に在籍する児童生徒とともに学習を行う活動です。2学期以降にも、多くの交流を実施することができました。交流を重ねることで「慣れてきて、関わりが増えてきた。」「これからも、続けて行いたい。」などのうれしい感想が届いています。

## 肢体不自由部門小学部4年生Aさん

小学部1年生のときから、交流を続けています。

(交流の様子)

笑顔で小学校に入り、あいさつにも応えることができました。活動内容は、歌、合奏、ゲームなど、これまでの経験を生かした活動が計画されていました。2回目になる「風船バレー」ではすぐにルールを理解して自分から手を伸ばして参加できました。ラリーの目標回数を超えると「すごい!」とみんなで喜び合いました。「福笑い」では、できあがりを見て楽しみました。今年度3回目の交流ということもあり、和気あいあいとした雰囲気の中での交流となりました。



## 肢体不自由部門中学部1年生Bさん

小学部のときから居住地校交流を始め、今年度からは中学校との交流が始まりました。

玄関まで出迎えにきた生徒さんが、教室まで案内してくれました。少ない人数の学級との活動だったので、ひとりひとりの自己紹介を聞くことができ、中には幼い時からの友達もいました。BさんもVOCAを使って自己紹介しました。クリスマスリースを作った後で「あわてんぼうのサンタクロース」を歌い、Bさんも一緒に楽しむことができるように活動内容が工夫されていて、よい交流ができました。



## 令和5年度東支援学校居住地校交流実施の現状

小学部	肢体不自由部門	16名(児童数34名)	交流籍のみ2名
	知的障害部門	25名(児童数73名)	交流籍のみ5名
中学部	肢体不自由部門	4名(生徒数14名)	
	知的障害部門	9名(生徒数43名)	

小中学部合わせて54名、交流回数は80回になりました。  
活動内容も工夫され、よい交流が増えています!

「交流籍」とは、特別支援学校の児童生徒が地域の小中学校に置く副次的な籍のことです。「交流籍」があることにより、「私の学校、私のクラスの仲間」という意識が芽生え、つながりが続いていくことが期待できます。

これまで居住地校交流を経験されていない方も、今後、ぜひ始めてみられませんか?  
ご希望、ご質問がある方は、担任や学部教頭にお知らせください。

## 来年度当初予定



詳細は4月にお知らせします

4月8日(月)始業式	下校11:40(SB11:50)
4月9日(火)短縮授業	下校13:20(SB13:30)
4月10日(水)入学式	下校11:40(SB11:50) 小2~5年は家庭学習日 ※新入生は原則保護者送迎
4月11日(木)短縮授業	下校13:20(SB13:30)
4月12日(金)~通常授業開始	※SB(スクールバス)
☆5月15日(水)~17日(金)の個別懇談は短縮授業となり、13:20下校です。	